

# 医療・介護連携に関する調査結果

## 北九州医療・介護連携プロジェクト会議 平成30年12月

### 結果概要

#### 〔Q1 患者・利用者情報の受け渡しの現状と理想〕

- ・すべての職種で、現状と理想の間に明確なギャップがでた。
- ・全体としては、理想は少なくとも「地域で情報の受け渡しの取扱い（ルール・ツール）が最低限揃っている」に加え、それが体系的な研修会・勉強会により定着し、効果が数字でわかる」状態だった。

#### 〔Q2 連携の場面ごとの困りごと〕

- ・新しく患者・利用者を引き受けるときに、患者・利用者に関する情報の取得に困っている職種が一定数ある。（救急告示病院、診療所、訪問看護、統括支援センター）一方、患者・利用者の情報を渡す際は困っていない職種が多い。
- ・医療機関や介護事業所ごとに、窓口やルール、患者・利用者への説明の仕方などにバラバラ感があることに困っている職種が多い。（地域連携室、訪問看護、ケアマネ事業所、統括支援センター）  
※その他すべての職種で、他の医療機関・事業所への基本的な事務対応（アポ等）に不満を感じていた。

#### 〔Q3 連携の困りごとの原因〕

- ・すべての職種で、地域で統一されたルールやツールがないために、情報の伝達に困ったり、「医療機関や介護事業所の窓口やルールがバラバラで困る」と考えている。

#### 〔Q4 効率のよい連携のために必要なもの〕

- ・すべての職種で、患者・利用者情報の取得のための何らかのツールへのニーズが高い。
- ・また、各医療機関や介護事業所の窓口やルール等の一覧（見える化）へのニーズも高い。

#### 〔Q5 Q4のものを業務に取り込む際に難しいと考えること〕

- ・すべての職種で  
「現在の業務が忙しく、実務の改善に着手しづらい。」  
「他の医療機関や介護事業所と足並みを合わせたいが、動向を知ることが難しい。」  
「行政（市）の方針が不明瞭だと進められない」と感じていた。
- ・一方、（それらが解決されれば）組織内での理解は得やすいと感じていた。

#### 〔Q6 Q5を解決するための有効な方法〕

- ・すべての職種で「ルールやツールの普及・活用には市内の医療機関・事業所の合意が有効である。」  
また、「業務マニュアルに反映させる必要がある」と感じていた。

#### 〔Q7 連携の不具合による悪影響や支障〕

- ・情報伝達の不都合により、「職員の業務」か「患者への支援」のいずれかに負担又は支障が出ていると感じる職種が大半だった。

## 1 目的

北九州医療・介護連携プロジェクト会議における今後の具体的な取組（ルール・ツール等）の作成を行うために、地域の問題意識の確認とWG会議で出された解決メニューのニーズを把握する。

## 2 調査内容

### ・調査手法

配付方法：郵送

回収方法：FAX、郵送、HP

### ・調査対象

救急告示病院 [看護部長、看護師長4名、連携室長、SW]

その他の病院 [看護部長、看護師長4名、連携室長、SW] ※療養介護事業所等を除く

診療所 [医師] ※無作為抽出

訪問看護ST [管理者、一般看護師]

CM事業所 [主任CM、一般CM] ※無作為抽出

統括支援センター [係長、職員、CM]

### ・調査期間 平成30年9月20日～平成30年12月28日

## 参考：北九州医療・介護連携プロジェクト会議について

### 趣旨

患者・利用者や、その家族を中心として、切れ目のない医療・介護等の支援を提供するため、市内の医療・介護等の関係機関が実施すべき取組や、その普及・徹底方策の策定、それらの実施状況の進捗管理、効果検証、見直しを行う。

平成30年8月17日設立

### 構成員

以下の団体からの選出された者により構成する。

北九州市医師会、北九州市歯科医師会、北九州市薬剤師会  
福岡県看護協会、福岡県理学療法士会、福岡県作業療法協会  
福岡県医療ソーシャルワーカー協会、ケアマネット21、福岡県介護支援専門員協会  
福岡県老人保健施設協会、北九州高齢者福祉事業協会  
訪問看護ステーション、在宅医療・介護連携支援センター、北九州市

## 配付先と回収率

対 象	配付先 (医療機関・施設数)	回収数 (医療機関・施設数)	回収率
①救急告示病院 病棟（看護部長&看護師長） 地域連携室（室長&医療SW）	18	18	100.0%
②その他の病院 病棟（看護部長&看護師長） 地域連携室（室長&医療SW）	68	62	91.2%
③診療所 （医師）	232	145	62.5%
④訪問看護ステーション （管理者&その他看護師）	108	89	82.4%
⑤ケアマネ事業所 （管理者&その他ケアマネ）	270	240	88.9%
⑥統括支援センター （係長、職員、ケアマネ）	7	7	100.0%
合計	703	561	79.8%

※①～⑥については、市より送付。

回収数については医療機関・施設数であり、回答者数は、各医療機関・施設で複数いるものもあることに留意。

### ●あなたの業務は、入退院調整等、外部と連絡・調整を行う業務ですか？

	行うと回答	全体との差
全体	66.4%	
救急告示病院(病棟看護師)	53.1%	▲ 13.3%
〃 (地域連携室)	96.8%	30.4%
その他の病院(病棟看護師)	42.2%	▲ 24.2%
〃 (地域連携室)	95.9%	29.5%
診療所	58.7%	▲ 7.7%
訪問看護ステーション	69.0%	2.6%
ケアマネ事業所	77.7%	11.3%
統括支援センター	80.6%	14.2%

### 結果

① **診療所、病棟看護師**は、患者・利用者情報を発信する立場であり、直接外部と連絡・調整を行うことが他職種に比べ、**少ない傾向**にある。

② **地域連携室、訪問看護ST、ケアマネ事業所、統括支援C**は、直接外部と連絡・調整を行うことが**多い傾向**にある。